



犬森 正治 議員

加齢性難聴者に 補聴器の支援を

町長

国の制度が確立すれば検討する



高額な補聴器

【大森】加齢による難聴によって閉じこもりになり、認知症を誘発するリスクがあるとの研究もある。
補聴器購入への助成を検討しないか。

【町長】難聴と認知症の因果関係が明確になり、国の支援制度が確立できれば検討する。

【大森】補聴器は高価なものだ。行政が補助すれば購入しやすくなる。

難聴で困っている高齢者への支援は重要である。低所得の人から始めないか。

【町長】財源にも限りがある。国の動きをみながら検討したい。

【大森】購入したが、合わなくて途中でやめる人もある。

補聴器は、慣れるために脳の訓練をする一定の調整期間が必要である。実態を調査して、行政としての手立てができないか。

【町長】今は議論するベースの数字がない。調整期間の支援を含めて、何ができるのか考えてみたい。

小規模農家支援の具体策は

町長

国・県の事業を活用して振興する

【大森】農業従事者数・耕作面積とも減り続け、食料自給率37%と過去最低なのにTPP・日米貿易協定などで自由化で、日本の農業は崩壊の危機にある。

【町長】ほかの産業に比べ、手厚く政策を進めている。

【大森】家族農業の持続・発展のためにどんな支援策を考えているか。

【町長】国・県の事業を活用して農業振興をはかる。

【大森】家族農業が持続するためには、所得補償と価格保障が必要と思うが。

【町長】所得を補償す



コンバイン労賃も安くはない

る保護政策ではなく、市場競争に勝てる政策が必要である。

【大森】それでは日本の農業は衰退する。農業機械・燃料への補助など、小規模家族農業への支援が必要では。

【町長】国・県の補助制度を活用し、所得向上、産地強化という流れに沿って、小規模農家の支援をしていきたい。